

交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。



まち News のニュース



石倉町上石倉

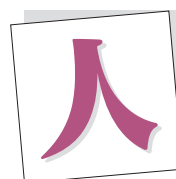
伝統行事で 住民交流を

石倉町上石倉自治会では一月十三日、石倉城外堀公園で道祖神祭りを行いました。これは、地区に古くから伝わる無病息災を願う行事。小学生からお年寄りまで二百人が参加しました。朝七時、小学生が太鼓で祭りの開始を告げた後、だるまや松飾りなどを燃やすどんど焼きを実施。その火を使い、もちやイカなどを焼いて食べ、一年の無事と安全を祈りました。同町の城田孝泰自治会長は、長い間中断していましたが、住民交流の場として平成元年に復活しました。みんな楽しみにしている行事なので、続けていきたいですね」と話していました。

接戦も強気で勝てました



全国小学生かるた大会優勝
田中 未沙さん(12)
緑が丘町



ピープル

一月十二日、東京都の湯島天満宮で開催された「第十六回全国小学生かるた選手権大会」高学年の部で、百人一首のトーナメント戦を制し頂点に立った。「一回戦不戦勝の後に五連勝し、優勝できました。おとし

は低学年の部優勝、去年は高学年の部で準優勝だったので、今年優勝することが目標。準々決勝が一番苦しかったけど、勝ててほっとしました。今年になって二段に昇段したばかり。準々決勝は初段の手ごわい相手で、この勝負が事実上の決勝戦といえる試合だった。「前半は向こうのペースで、中盤に逆転しました。でも、終盤に追い付かれ、最後まで勝利は分かりませんでした。気が弱くなると負けだと思ったから、何としても勝とうと頑張ったの」。百人一首を始めたのは幼稚園生のとき。姉と芳賀公民館で毎

週土曜に開かれている「芳賀かるた会」の教室に通うようになったことがきっかけだった。「練習は楽しいです。学年や年齢に関係なく、みんなとできるから。百人一首はこれから少しずつ続けていきたいな」。学校で好きな授業は体育。陸上競技が得意で、ハードルで県大会優勝、リレーのメンバーとして、全国優勝も経験している。「将来はお医者さんになることが夢です。だから中学に入ったらもっと勉強しなくちゃ」。無限の可能性を秘めた小学六年生。いろいろなことにチャレンジし、大きく飛躍してほしい。

まえばしの動物植物 ③⑤

タヌキ

市自然環境保全推進委員

片山 満秋



タヌキは五、六匹の集団で生活するイヌ科の動物。本市に広く生息し、主に夜活動します。雑食性で果実や魚、肉など人間の食べる物は何でも食べます。人間に慣れやすく、餌付けしている温泉旅館などもあります。館林市の茂林寺にはタヌキの置物が並んでいます。腹はあれほど大きくありません。タヌキにまつわる言葉はタヌキ寝入りやタヌキうどん、タヌキおやしなど数多くあります。夜に食べ物を求めて出歩き、車にひかれたかわいそうなたヌキも見かけます。